

令和7年2月10日

日光市議会議長 齋藤文明様

日光市議会議員 荒川礼子

議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	人口減少時代の自治体財政 (世界一わかる財政基礎研修①・②)
会議等の 主催者の名称	地方議員研究会
場所	名称等：リファレンス西新宿大京ビル 住所：東京都新宿区西新宿7丁目21-3
期間	令和7年1月21日(火)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	少子化が国の想像を超えて進み、歯止めがかけられないままに人口減少・高齢化が全国的に進む中、特にそのスピードが加速している本市において、今後のまちづくりを進めていく上で非常に重要な財政の基礎をもう一度見直す思いで研修に参加した。 ①人口減少時代の自治体財政 人口減少により収入財源が減少していく中で財政運営の舵取りが益々難しくなってきている現在、地方議会に求められている大きな役割の1つが予算の決定である。

人口推移と予測から、これから各自治体の財政がどのように変化していくかをまず押さえることが、議会での議論の出発点である。収入財源は人口で決まる。

また、本市にとって、地域にとって何が一番大事なのか、多様な立場の人とつながり、住民と話し合いながら地域の発展のあり方を決めていくという取組も議会の大きな役割であると言うことをあらためて確認した。

価値（大切なものの）の発展が重要である。

自治体の目的は「住民福祉の増進」と地方自治法にあるように、大切なのは住民ニーズに答える住民サービスの実施方針つまり予算であって、收支結果である決算ではない。何故なら、住民は「予算」を通じてしか行政の活動をコントロール出来ないからである。その住民の声を代表するのが議会である。

自治体財政は、「赤字にしない」というたった1つのルールのもと、何をどう使うか、それを決めるのが予算であってどこに重点を置くのかの違いである。改めて説明を受けると、ともすると、今までやってきたからとか、削れない理由に縛られ、本来住民福祉の向上に期する政策を諦めてしまう場合があるので、本質を考えることの大切さに気づかされた。

②世界一分かる財政基礎研修

後半では、人口規模と財政力や、人口密度と財政負担などを数値・グラフで表し、自治体財政の特徴が歳出にあらわれることから自分の自治体の特徴を捉え、人口減少するときの財政運営をどうするかなど具体例を引きながらわかりやすく説明を受けた。

『人口減少・高齢化が進む現在においては「拡大する住民ニーズとひつ迫する一般財源」との間における難しい政策判断が各自治体に求められている』との現状に対し、苦しい時こそ議員としてのやりがいがある！との講

様式2

	<p>師の言葉が最後に印象に残り、今後の議員活動に大変参考となる研修となった。</p>
--	---